

ネイチャーウォッチングだより

令和4年6月29日(水)

愛知教育文化振興会

協力:岡崎女子大学・短期大学

6月26日(日)、岡崎市少年自然の家を会場に、本年度第1回のネイチャーウォッチング「めざせ 虫博士」を開催しました。コロナ禍がなかなか収束しない状況ですが、受付時の検温、手指の消毒、ロッジ内でのマスク着用等に細心の注意を払い、29組の親子、合計93名が参加してくださいました。さすがネイチャーウォッチングに参加してきた子どもたち。受付の前には、もうアリを捕まえて見せてくれたり、周辺の森や草原を探検したりする子がいました。



開会式:三河各地から29組の親子が参加しました!

今回は、昆虫のことを知り、実際にトンボやバッタ等の昆虫採集を体験することが目的でした。講師に、日本昆虫学会の鈴木栄二先生をお招きし、昆虫の体の特徴や捕まえ方を教えていただきました。「足が6本、羽が4枚で、6,4で虫(むし)なのです」、「トンボは目がとてもいいので、後ろから網で捕まえます」、「トンボは羽を持たないで、胸やしっぽをつか

んでください」など、楽しくて分かりやすい説明に、「あっそうか。」「へえ〜」と、全員が納得顔でした。中でもトンボの模型を使った「大昔は今より酸素が多かったので、最大75cmもあるトンボもいた」という話には驚きの声が上がりました。

また、カブトムシやクワガタを捕まえるためのペットボトルを使ったトラップや、紙コップで地面にいる昆虫を簡単に捕まえるトラップの作り方も興味深いものでした。ペットボトルトラップにはバナナ、紙コップの方は酢を入れておくとよいそうです!ぜひ試してください。



昆虫の特徴について話す鈴木先生

講話の後は、屋外での昆虫採集体験の予定でしたが、開会式が始まるころから降り始めた雨が、すぐに本降りとなり、天気回復が望めない状況に。そこで、鈴木先生への質問タイムを設けました。子どもたちからは「ヒメジャノメの羽に丸い模様があるのはどうしてですか?」、「オオクワガタはどこで捕まえることができますか?」など次々に質問が飛び出し関心の高さがうかがえました。最後に、ご協力いただいたアンケートから一部を紹介します。



質問タイムの様子

先生の講義がわかりやすくて、楽しかった。(子)
雨が降ってしまって、実際に虫取ができなかったのが残念でした。(父) 参加できて本当によかった。子どもたちにいい経験をさせようとしていることがわかるイベントでした。(母)

化石の中にあつたトンボがスズメより大きいのにびっくりした。(子) 虫取りができなくて、残念だった。(子)
トラップについて有益な話をいただき、今後子どもと作って試してみたいです(父)

雨が降ってしまった事が本当に残念でした。それ以外はとっても楽しかったです。小学二年生の子どもは講話は普段つまらない…と頭に入らないようですが、今回はすごく楽しかったと他の虫にも興味が湧いたようです。また次回のネイチャーも楽しみにしております。次こそはお天気晴れますように!!(母)

虫のことがたくさん聞けてよかったけど、雨で捕まえられなくて残念だった。(子) 天気は残念でしたが、虫に詳しい先生方のお話も楽しくて参加できて良かったです。大学生のスタッフの方たちも丁寧に対応して頂き、子どもたちにも優しく声かけをもらって良かったです。(母)